

## 7 課 血液型による性格判断

### 1. 一見やさしそうで意外に頑固なA型

初対面ではおとなしく、つきあいやすそうな感じで、相手への挨拶や気配りが行き届く。自分の周囲の人々と波風を立てないように、自分の感情や欲求、意見などは抑制する。しかし物柔らかで、つきあいやすそうに見えても、なかなか人に心を開かない一面もある。言い換えると、内面は頑固で激しさがあり、怒りやすいのも一番である。すなわち感情性が強く、その上完全主義でプライドが高く、人に軽蔑されることを何よりも嫌う。自分の抱いた意見は容易に変えず、穏やかに相手に合わせているように見えても、心の中では頑として、自説を守っていることがよくある。自分のプライドを傷つけないために、自分の本心とは逆の表現をとることがある。従って、A型の人の本音を知るためには時間がかかるが、よく知り合えば、思いやり、献身性、意外な無邪気さに触れることができる。

### 2. とっつきにくいが率直で話せばわかるB型

B型の印象には二つのタイプが見られる。その一つは、何となく、とっつきにくい感じである。それがあるときには、おずおずした引っこみ思案の人に見えるが、またあるときには、無愛想で、恐ろしげにさえ見える。もう一つのタイプは、陽気で気さくで、ざっくばらんなタイプである。だがどっちのタイプも、つまりはB型の人がつきあいの形式的な慣習や挨拶に、なかなか習熟できない天性からきている。挨拶やつきあいが苦手だと思えば引っこみ思案になり、開き直って挨拶ぬきになると、気さくに見える。またB型は言いにくいことも歯に衣をきせず、ずばずば言う。しかし悪気は毛頭なく、腹の中はあけすけで、こんなに気楽な相手はいない。話しあえば、すぐに心を開き、だれかれ区別なく親しみ、相手の立場を理解し、人情味もある。そのかわり、B型は平素はマイペースの行動をとり、周囲に気を使わないので、自分勝手な人と誤解されることが多い。B型に対しては、その日常の言動を見て、人間性の善悪を決めるべきではない。話せばわかる人と考えたほうがよい。

### 3. 最初は警戒心が強いが一度信頼しあうと最高の友になるO型

O型は、共通して初対面程度の人や、相手の素性、人柄、目的などが知れないうちは、著しく警戒心を高めているのが特徴である。あたりさわりのないことしか言わなかったり、むっつりしたり、たとえにこやかでも、立ち入った話になると、おとぼけをしたりする。だが、一度信頼しあうと、徹底的に温かく親切で、人間味あふれ、友人になれば最高といわれる。最初の警戒心の壁を突破するのが、まず鍵となる。そのために共通の友人を立てたり、紹介状もO型には一番効果がある。仕事や事件の共同体験を持ったり、酒を飲みあったりするといっぺんに親しくなれることもある。O型の人の表現は率直単純、ストレートで好人物の印象をあたえる。時にはロマンチックな詩人肌や理想家風を示すが芯は最も現実性に富み、プラス・マイナスの判断や計算は、がちりしている。電話では事務的になることが多い。また用件が終わるとサッと帰ったりするが、こちらを嫌っているのではない。一言多く自己主張の強さを示すO型は、仲間もつくれば敵もつくる。O型は本当に信頼した相手には、とことん尽くすこともある。

### 4. 人を驚かすAB型の二面性

AB型は、きわめて冷静で落ちついていて、考え方も合理的である。ソフトで円満な知性の人という印象を与える。ところがその反面、感情が突発的に変化し、気まぐれ、気ままで空想好き、現実離れの趣味性もある。AB型の人にはビジネス能力も高く、対人態度もそつがない。その上、よく相手に合わせる。AB型は特定の人と特別親しくなったり、打ちこみ、のめりこむことが少ない。人に対して誠実公平で、派閥活動をしないう良さもある。クールな反面、ユーモアもある。また人の偽善やうそをよく見抜く。協調的なAB型の内面に強い正義感が潜んでいる。

---

#### ◆大意チェック◆

- ①全く違う二面性を持っているのは何型か。
  - ②B型の特徴を一言で説明しなさい。
  - ③一見やさしそうで、頑固者は何型か。
-

## 語句と漢字

けつえきがた 血液型	せいかく 性格	はんだん 判断(する)	い がい 意外に	がんこ 頑固(な)
しよたいめん 初対面	あいさつ 挨拶	きくばり 気配り	ゆ とどく 行き届く	しゅうい 周囲
なみかぜ 波風	かんじょう 感情	よつきゅう 欲求	よくせい 抑制(する)	ものやわ 物柔らか(な)
いちめん 一面	ないめん 内面	はげ 激しい	おこ 怒りやすい	かんぜんしゅぎ 完全主義
けいべつ 軽蔑(する)	きら 嫌う	いだく 抱く	ようい 容易に	おだ 穏やかに
がん 頑として	じせつ 自説	きず 傷つける	ほんしん 本心	したが 従って
ほんね 本音	けんしんせい 献身性	むじゅき 無邪気さ	ふ 触れる	そつちよく 率直(な)
いんしょう 印象	とつつき	おずおずする	ひ 引っこみ	じあん 思案
おそ 恐ろしげ	ようき 陽気(な)	きさく 気さく(な)	ざつ ざつぱらん(な)	ぶあいそう 無愛想(な)
かんじゅう 慣習	しゅうじゅく 習熟(する)	てんせい 天性	ひら 開き直る	けいしきてき 形式的(な)
ずばずば	わるぎ 悪気	もうとう 毛頭	はら 腹	は 歯に衣をきせる
だれかれ	くべつ 区別(する)	にんじょうみ 人情味	へいそ 平素	あけすけ あけすけ(な)
かって 勝手	ごかい 誤解(する)	げんどう 言動	ぜんあく 善悪	こうどう 行動(する)
しんらい 信頼(する)	ていど 程度	すじょう 索性	ひとがら 人柄	けいかいしん 警戒心
あたりさわりのない	むつつりする	たちい 立ち入る	おとぼけ	いちじる 著しく
かべ 壁	とっぱ 突破(する)	かぎ 鍵	こうじんぶつ 好人物	てっていき 徹底的
りそうかふう 理想家風	しん 志	とむ 富む	けいさん 計算	しじんはだ 詩人肌
じこしゅちよう 自己主張	なま 仲間	てき 敵	ほんとう 本当に	がっちりする
とことん	つくす 尽くす	おどろかす 驚かす	れいせい 冷静(な)	あいて 相手
とつぱてき 突発的	きまぐれ 気まぐれ	きまま 気まま	くうそう 空想	えんまん 円満(な)
そつがない	うちこむ 打ちこむ	のめりこむ のめりこむ	せいじつこうへい 誠実公平	しゅみせい 趣味性
ほんめん 反面	ぎぜん 偽善	うそ	みぬ 見抜く	はばつ 派閥
せいぎかん 正義感	ひそ 潜む			きょうちようてき 協調的